G3 NOOVÉ HAUS

Builder：kigumi studio（キグミスタジオ）　interview：大野 晴信

世界最高水準 G3 断熱の家

豪雪と寒さのストレスを忘れさせてくれる高度な設計と、毎日を“非日常”の時間に変える洗練されたデザイン。リクエストに寄り添う真摯な姿勢と確かな技術が、吹雪の日でも半袖で笑い合える暖かな住まいを叶えました。目指しているのは、住むほどに愛着が深まる誠実な家づくり。



A | B | C | D

A_排雪性とデザイン性を両立したリズム感のある外観。　B_軒先の裏側（軒天井）にはベイマツをあしらった。軒先に設けた通気口から、室内にこもる湿気や熱気を排出する仕組みだ。C_リビングのすぐ隣には、内と外をゆるやかにつなぐウッドデッキを配置した。屋根があるため、天候を気にせず使用でき、建物の劣化を防ぐ効果も期待できる。　D_素材のテクスチャーを感じさせる土壁を模した外壁。コテ跡が映し出す立体的な陰影が美しい。

“冬でも半袖”が叶う。豪雪地帯の理想郷―― 暮らしを彩る高性能な住まい

県内有数の豪雪地帯で、冬も驚くほど暖かく快適な暮らしを手に入れたＴさんご夫妻。新居に求めた条件は、洗練されたデザインと圧倒的な暖かさ、そして雪国特有の悩みである除雪の負担軽減という3点でした。

とりわけ重視したのは、寒がりの奥様のための“暖かさ”。いくつもの住宅展示場を回る中で、ご夫妻が信頼を寄せたのがキグミスタジオでした。最高水準の断熱等級８を余裕でクリアするそのスペックは、極寒の北海道基準をも上回るレベル。Ｔ邸のＢＥＩ値(一次エネルギー消費量性能)は0.23。これは、国の省エネ基準となる一般的な住宅(ＢＥＩ＝1.00)のわずか23%のエネルギーで生活できるという、極めて高い省エネ性能を示しています。

厳冬期に入居したご夫妻が驚いたのは、アパート暮らしでは考えられなかった快適さ。「家中どこにいても暖かく、吹雪の日でも半袖で過ごせるほどです」

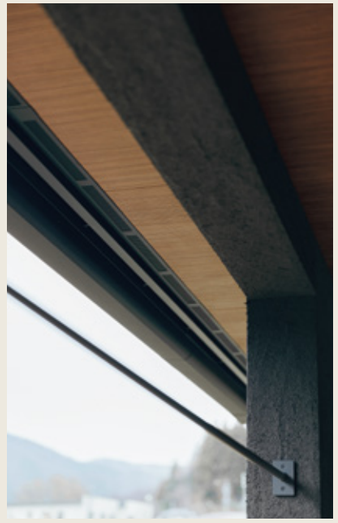
そう語る笑顔が、この家の性能を物語ります。灯油を買いに行き、寒い中で補充するという長年のストレスから解放されたこともまた、暮らしの満足度を劇的に向上させました。

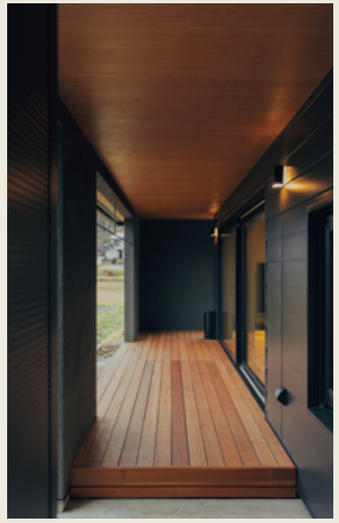
しかし、キグミスタジオが目指しているのは、単に高性能な数値を追い求める家づくりではありません。施主との対話

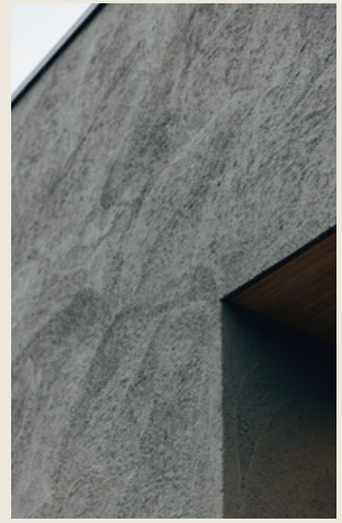


大野 晴信｜建築設計アトリエ kigumi studio 代表

空間構成やデザインはもちろん、断熱・気密、音、空気環境など、目に見えない住まいの質まで追求した家づくりを手掛ける。高い住宅性能と自由な設計を両立しながら、無駄を省いた設計・施工によって、質の高い住まいを手の届く価格で提供することを目指している。











を何よりも大切にし、「その家族がどのように暮らしたいか」という本質的な問いに応えることを使命としています。10年、20年先、さらに先の世代まで見据え、一過性の流行に左右されない誠実な設計を積み重ねていくのです。

たとえば、切実な悩みだった排雪対策についても、設計段階から緻密なシミュレーションを行いました。「屋根の雪をどこに落とすか」だけでなく、「陽光を利用してどこで雪を解かすか」ということまで考慮して、屋根の勾配や構造を工夫。重労働だった雪かきや雪下ろしの負担を大幅に減らすことに成功しました。

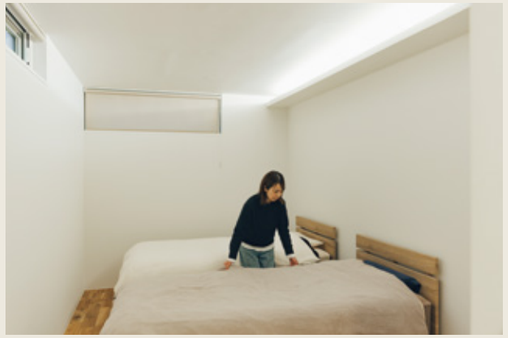
居住空間の象徴は、玄関から広がる高さ5.4mものダイナミックな吹き抜け。圧倒的な断熱・気密性能があるからこそ、これだけの大空間でも暖房効率を損なうことなく、開放感あふれる住空間を実現できました。夜になると、間接照明の柔

E_積もった雪が自然と落ちる屋根の勾配をそのまま生かしたLDKの天井。隣接する畑に落雪するよう設計されている。
F_キッチンと一体になったダイニングテーブル。「配膳や片付けがしやすいので、家事が楽になりました」と奥様も嬉しそう。
G_勾配天井の羽目板も上質な空間づくりにひと役買っている。　H_「休日はリビングでゆっくりと映画を観たい」と奥様。ダイニングでご主人と晩酌をする時間も癒しのひと時。

E　F
G | H









らかな光が室内を包み込み、落ち着きのある上質な雰囲気へと表情を変えます。

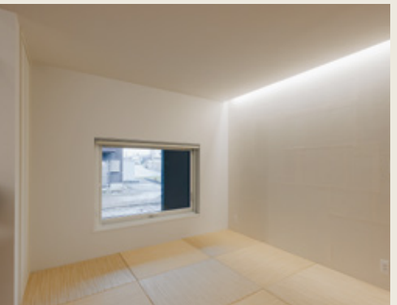
キッチンとダイニングが一体となったレイアウトは、夫婦二人が並んでもゆとりのある広さ。家事動線も配慮され、暮らしやすさにつながっています。

和室の壁面には、ご夫妻自らが漉いた地元の伝統工芸・内山和紙を採用。住まいへの愛着を深める工夫も随所に施されています。

雪国の暮らしを“耐えるもの”から“楽しむもの”へ。

キグミスタジオとともにつくり上げたT邸は、厳しい寒さの中でも快適性を守りながら、家族の時間をより豊かに、より穏やかに、彩り続けます。





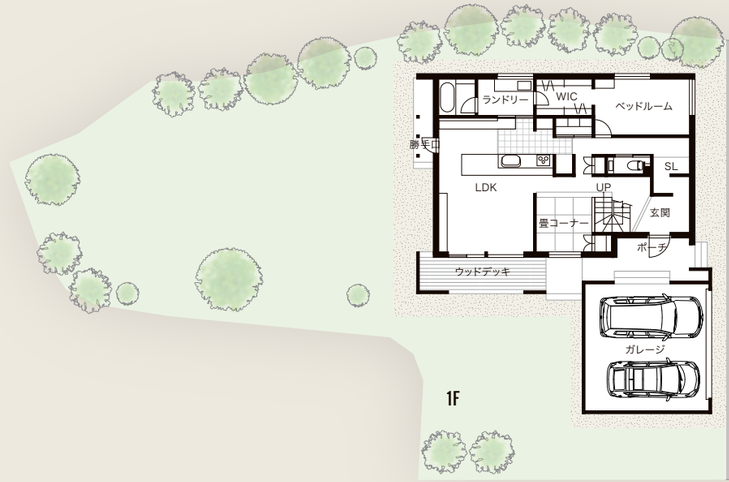


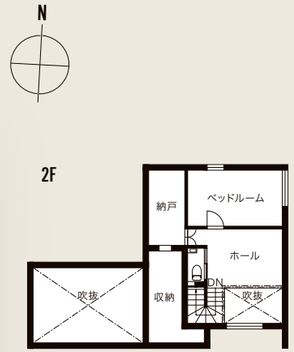
I | J

K | L | M

N | O | P

I・J_将来を見据えて、ベッドルームを1階に配置。浴室、ランドリー、ウォークイン・クローゼット、ベッドルームを一直線に結び、無駄のないコンパクトな生活動線を実現した。 K_ダイニングテーブルはキッチンと横並びになるよう造作。食事の準備や後片付けの手間が減り、日々の暮らしにゆとりを生み出している。 L_ゲストスペースとしても活用できる畳の空間。壁には、自ら漉いた内山和紙を配している。 M_黒い外観とは対照的な白い内装。塗り壁と間接照明が陰影を美しく演出している。支柱のないおしゃれな螺旋階段が空間のアクセントになっている。 N_どっしりと重厚感のあるファサードが、自然豊かな風景に美しく映える。 O_ご主人の要望だったビルトイン・ガレージ。天気の悪い日でも濡れることなく出入りできる。 P_リビング横のウッドデッキが、内と外を緩やかにつなぐ。





PLAN　1階床面積／130.83㎡（39.50坪）
2階床面積／ 34.78㎡（10.50坪）
延床面積／165.61㎡（50.00坪）







kigumi studio（キグミスタジオ）　長野市下駒沢 381　026-296-5520　https://kigumistudio.jp